



慶應義塾大学ビジネス・スクール

出店モールの決定

5

衣料品チェーンのA社は、雪国市の郊外にある東モールか西モールの、どちらかに新たに出店することを計画している。ただし懸念は、同業者であるB社とC社の出店計画である。B社とC社も、A社と同様に、東モールまたは西モールのどちらかに出店しようとしている。A社が出店から得る利益は、どのモールに出店するかだけでなく、B社およびC社のそれぞれと、同じモールに出店するか別のモールに出店するかによって影響を受ける。

10

東モールと西モールはどちらも数十店が出店する規模だが、出店する業種の偏りを防ぐために、どちらもA社、B社、C社のうち最大でも2社までしか出店できない。どちらのモールも3社のどれが出店できるが、あるモールに3社の中から2社の出店が先に決まると、残りの1社はそのモールには出店できなくなる。

15

3社は1社ずつ順番に出店するモールを決めていくが、最終的に考えられる東モールと西モールへの3社の出店パターンは下の6通りである。そしてそれぞれの出店パターンにおける各社の利益は、社名の右隣のカッコ内に示されている。

	東モール	西モール	
パターン1	A社 (50)	B社 (30)、C社 (30)	
パターン2	B社 (70)	A社 (20)、C社 (20)	
パターン3	C社 (10)	A社 (40)、B社 (60)	
パターン4	B社 (35)、C社 (35)	A社 (40)	
パターン5	A社 (25)、C社 (25)	B社 (60)	25
パターン6	A社 (45)、B社 (65)	C社 (0)	

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 大林厚臣 (2012年2月作成)